

# 東日本大震災・原子力発電所事故を経験して

講師： 介護老人保健施設 厚寿苑 涌井 美貴子

平成23年3月11日金曜日、震度6強の地震があり、その後福島第一原子力発電所事故が発生。原発事故により、物流がストップ、スタッフの避難などもあり、施設は一時閉鎖となった。

私の自宅も旧避難準備区域に指定されたが、避難はせず自宅に留まり、地域に残っている利用者様の家に伺いリハビリを行なった。

施設再開後、仮設住宅へ避難している方々の施設利用が急増した。避難により、今まで田んぼや畑作業、家事など行っていた人達が、活動の場を奪われ要介護状態となっていた。作業・活動の場が人間にとって大切であるという事を、改めて痛感した。

あれから早いもので10年の歳月が過ぎた。しかし今も当時を振り返ると、もっと頑張れたのではないか、他にもやるべき事があったのではないか、と心が苦しくなる事がある。

あの時の状況をお話しさせて頂き、何かを感じてもらえればと思う。

